

大学 ICT 推進協議会 2013 年度事業報告

1 総会の開催

- (1) 2013 年 5 月 30 日に、学術総合センター 2 階会議室において第 3 回通常総会を開催した。
- (2) 主な決議議題は、次のとおり。
 - ① 役員を選任について
 - ② 平成 24 年度事業報告について
 - ③ 平成 24 年度収支決算について
 - ④ 2013 年度事業計画について
 - ⑤ 2013 年度予算計画について
 - ⑥ 2013 年度年次大会について

2 年次大会の実施

- (1) 名 称 大学 ICT 推進協議会 2013 年度 年次大会
- (2) 期 日 2013 年 12 月 18 日 (水) ～20 日 (金)
- (3) 場 所 幕張メッセ国際会議場 (千葉市)
- (4) 結果の概要

- ① 参加総数：900 名 (来賓等を含む)

参加登録者	当日参加者	来賓, 全体会講師	計
468	128	4	600 名

	ブース数	出展者数 (2 名/ブース)	出展説明者数 (3 名/ブース)	計
展示会関係参加者	56 ブース	112 名	168 名	280 名
協賛関係者				20 名

- ② 発表件数：138 件

	基調講演	企画セッション	出展者セミナー	一般 口頭発表	一般ポス ター発表	計
発表件数	2 件	17 件	32 件	60 件	27 件	138 件

- ③ 展示数：62 (44 社, 7 大学 (正会員), 1 協議会)

4 WEB 及び会誌による情報発信及び新規会員勧誘の推進

- (1) WEB 及び会誌による情報発信
協議会のホームページで AXIES 全体, 部会での活等の情報を発信している。
- (2) 新規会員勧誘
 - ① 2013 年度当初は, 正会員 61 機関, 賛助会員 35 社であった。
 - ② 2014 年 4 月 1 日現在で, 正会員 72 機関, 賛助会員 39 社となっている。

5 他組織との連携

EDUCAUSE との間に, 次のような連携を行った。

- (1) EDUCAUSE 年次大会での AXEIS イベント
 - 日 時 2013 年 10 月 17 日 (木) 18:30～20:30
 - 場 所 Huntington B, Fourth Floor, Hilton Anaheim Hotel (EDUCAUSE 年次大会会場近接)

参加者 日本からの EDUCAUSE 年次大会参加者 40 名

(2) 本協議会と同等の機関による国際的な連携枠組み (CHEITA) に参加

日時 2013 年 10 月 17 日 (木)

参加者 AXIES を代表して 山田国際連携室長が参加
(日本, 米国, カナダ, オーストラリア などの組織の代表者)

(3) 私立大学情報教育協会 (私情協) との関係構築

- ・2013 年度年次大会全体会において, 私立大学情報教育協会の向殿会長が出席し, 来賓祝辞を述べられた。
- ・その後, 2014 年 2 月に, AXIES 事務局職員が私立大学情報教育協会の事務所を訪れ, 今後の相互協力について意見交換を行った。

6 部会での活動

(1) アカデミッククラウドに係る委託調査の実施

- ・アカデミッククラウドに係る文部科学省からの委託事業を実施するため, 本協議会の正会員に所属する研究者を中心とするタスクフォースを設置した。
- ・タスクフォースでは, 年次大会でセッションを設けて中間報告を行い, 2 月の報告会を経て, 3 月に調査結果を文部科学省に提出した。

(2) 安否確認システムの共同開発 (CIO 部会, クラウド部会)

- ・協議会会員での情報システムの共同開発の最初の試みとして, 安否確認システムの検討を開始した。
- ・クラウド部会において会員大学の協力を得ながらシステム開発した安否確認システムについて, 京都大学でテストを行い, ユーザーの意見を基にシステムの改善を進めている。

(3) CIO 向けセミナーや CIO 向け講演会の開催

- ・CIO 部会開催に合わせて, CIO 向け講演会を 2 回開催。
- ・2013 年 9 月 10 日に, 会員以外にも呼びかけて CIO 向けセミナーを開催した。参加者約 60 名

(4) AXIES 包括ライセンスプログラムを開始

- ・マイクロソフトと AXIES が共同して提供する, AXIES 会員向けの特別な契約形態を開始。
- ・AXIES 会員大学とマイクロソフトとの間でソフトウェアの包括契約が 20 件に達すれば 5%, 40 件に達すれば 10% の割引が適用される。

(5) 年次大会での各種セッションの企画, 実施 (各部会)

(6) 外部機関イベントへの参加